

# 新型コロナウイルス感染症と 子どもの傷害予防

～とくに保育現場の安全・安心をどう保証するか～



定員  
100名  
(要事前申込)

参加費  
無料



子どもの発達シンポジウムでは、「子どもの傷害予防(事故予防)」を一つの大きなテーマと考え、これまで2回取り上げてきました。最初は2012(平成24)年の第6回に「子どもの尊い命を自己から守るために今進められている試み」、そして2016(平成28)年の第10回では「子どもの事故の実態と防止策―国内外の取り組みについて―」をテーマとして開催しました。

2019年の終わりからの、中国武漢市での大流行に端を発した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によるパンデミックは、世界の様相を一変させてしまいました。子どもたちの育っていく環境も例外ではありません。

そんな時代だからこそ、**安全・安心な環境がより必要とされます。**

そこで第15回シンポジウムでは、保育現場で働きながら、ジャーナリストとしても活躍されている猪熊弘子氏、3回目の登壇となる小児科医の出口貴美子氏、聖徳大学教授の腰川一恵氏を講演者としてお招きして、三者三様の立場からお話しいただき、最後のパネルディスカッションにつなげます。

日時

令和3年2月6日(土)  
13:00～17:00

開催  
方法

「Zoom」による  
オンライン配信

申込  
方法

参加ご希望の方は、以下の申込フォームにアクセスの上、事前申込みをお願いします

申込期限：令和3年2月4日(木)

申込フォーム：<http://bit.ly/jidouken2020206>

お申込み後、ご登録いただいたメールアドレス宛にZoomのURL等ご案内のメールをお送りします。

また、以下のドメインからのメールを受信できるように設定をお願いします。@wa.seitoku.ac.jp

受付完了メールが届かない場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。



申込フォーム  
QRコード

主催：聖徳大学児童学研究所 協力：聖徳大学大学院児童学研究所、聖徳大学児童学部 後援：松戸市、松戸市教育委員会

## 講演

「子ども主体の保育と子どもの安全～日本と海外の安全の概念と子どもの権利から考える～」

猪熊 弘子 ジャーナリスト、名寄市立大学 特命教授、名福寺ルンビニー学園幼稚園・保育園 副園長

「あなたも子ども傷害予防のプロ『子ども安全管理士』になりませんか？」

出口 貴美子 出口小児科医院 院長、慶應義塾大学解剖学教室 講師(非常勤)、  
日本大学医学部小児科 講師(非常勤)

「保育者・看護師の視点・実践から考える子どもの傷害予防」

腰川 一恵 聖徳大学児童学部児童学科 教授

## パネルディスカッション

講演者3名と司会者とで、新型コロナウイルス感染症パンデミック下での  
子どもの傷害予防について議論を深めます。

お問い合わせ

聖徳大学児童学研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話：047-365-1111 (大代表)

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>